

箕輪都市計画基礎調査報告書

(概 要 版)

令和 6 年 3 月

長野県箕輪町

箕輪町の概要

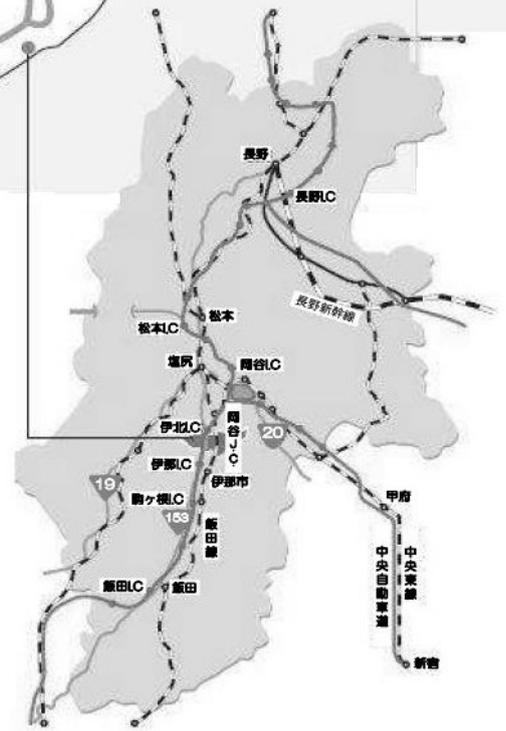
箕輪町は長野県のほぼ中央部、上伊那郡の北部に位置し、田園工業都市として発展している町です。中部平坦地を北から南へ天竜川が貫流し、竜東は狭小な大地から伊那山脈に、竜西は広い緩傾斜の台地となって中央アルプス連峰に続き、ともに農耕地帯を形成しています。周囲は、東に山林をもって諏訪市・伊那市高遠町に接し、南は耕地、原野をもって伊那市・南箕輪村に連なり、西北は耕地山林をもって辰野町に接しています。また、一級河川として西に桑沢川、深沢川、帯無川、東に沢川等があり、いずれも天竜川に合流しています。



中央自動車道西宮線をはさんで、広域農道・県道伊那箕輪線・国道 153 号線・箕輪バイパスが走り、これらを結んで多数の主要町道等が走っています。JR 飯田線も中部平坦地を天竜川に沿って南北に走り、町内に伊那松島・木ノ下・沢の 3 駅があります。このように JR 飯田線と南北を幹線が縦走し、理想的な交通網が整備された、まさに暮らしよい町です。

また近年では首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、産業分野の先端技術が集結し、ハイテクタウンへと変貌しています。

農商工の調和と住む人々が主役のまちづくりを基本に、夢とロマンあふれる未来型環境の整備を創造している町です。



(箕輪町ホームページおよび町勢要覧 2023 より抜粋)

目 次

箕輪町の概要	2
① 人 口	1
C0101 人口規模	1
C0101-1 人口総数及び増加数	1
C0101-2 年齢・性別人口	2
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減の内訳	7
C0105 通勤・通学移動	9
② 産 業	11
C0201 産業・職業大分類別就業者数	11
C0201-1 産業大分類別就業者数	11
C0201-2 職業大分類別就業者数	14
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	16
C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額	16
C0202-2 産業中分類別工業出荷額	19
C0202-3 工業出荷額推計	21
C0202-4 産業中分類別商業販売額	22
C0202-5 商業販売額推計	23
③ 土地利用	24
C0302 土地利用現況	24
C0302-1 区域区分別の土地利用別面積	24
C0302-2 地区別の土地利用別面積	26
C0304 宅地開発状況	28
C0305 農地転用状況	29
C0307 新築状況	30
C0308 条例・協定	32
④ 建 物	33
C0401 建物用途別現況	33
C0401-1 地区別の建物用途現況	33
C0401-2 区域別の建物用途現況	38
C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ別現況	40
C0402-1 建物階数別現況	40
C0402-2 建物構造別現況	42
C0402-3 建築面積現況	43
C0402-4 延床面積現況	45
C0402-5 建築年別現況	47
C0402-6 建物高さ別現況	52
⑤ 都市施設	54
C0501 都市施設の位置、内容等	54
⑥ 交 通	55
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	55
C0603 鉄道・路面電車等の状況	57
C0604 バスの状況	57
⑧ 自然的環境等	58

C0803	緑の状況	58
⑩	その他	59
C0402	大規模小売店舗等の立地状況	59
C0701	地価の状況	60
C0802	気象状況	61
C0901	災害の発生状況	63
C0902	防災拠点・避難場所	63

-
- 数字の表章単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。
 - 図表中や図表名、資料名に時点の記載がない場合は、令和5年の値である。

① 人 口

C0101 人口規模

C0101-1 人口総数及び増加数

箕輪町の行政区域の人口推移をみると平成 17 年までは増加傾向にあったが、その後減少傾向となり、令和 2 年には 24,989 人となっている。

また、令和 2 年の非線引き用途地域の人口は、8,166 人となっており、総人口の 32.7%にあたる。非線引き用途地域の人口推移は、平成 22 年には平成 17 年と比較して 699 人の減少、平成 27 年には平成 22 年と比較して 778 人の減少、令和 2 年には平成 27 年と比較して 479 人の減少となっている。一方、非線引き用途白地では、平成 22 年まで増加傾向が続き、平成 27 年で 195 人の減少となったが、令和 2 年には平成 27 年比較して 227 人の増加となっている。

平成 12 年から令和 2 年の 20 年間における人口増減は、行政区域人口は 2.6%減（672 人減）であり、非線引き用途地域では 18.1%減（1,821 人減）となっている。一方、非線引き用途白地では 7.3%増（1,140 人増）となっており、郊外地域への人口の移動がみられる。

表 1 - 1 人口推移

(平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口をもとに作成)

区域区分	平成12年 人口 人	H12～H17年 の増減		平成17年 人口 人	H17～H22年 の増減		平成22年 人口 人	H22～H27年 の増減		平成27年 人口 人	H27～R2年 の増減		令和2年 人口 人
		人口 人	率 %		人口 人	率 %		人口 人	率 %		人口 人	率 %	
行政区域	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241	▲ 252	▲ 1.0	24,989
都市計画区域	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241	▲ 252	▲ 1.0	24,989
非線引き用途地域	9,978	144	1.4	10,122	▲ 699	▲ 6.9	9,423	▲ 778	▲ 8.3	8,645	▲ 479	▲ 5.5	8,166
うち D I D 区域	6,871	▲ 390	▲ 5.7	6,481	▲ 492	▲ 7.6	5,989	-	-	-	-	-	-
非線引き用途白地	15,683	471	3.0	16,154	637	3.9	16,791	▲ 195	▲ 1.2	16,596	227	1.4	16,823
うち D I D 区域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：国勢調査

※ 非線引き用途地域と非線引き用途白地の人口は、都市計画区域の人口を建物用途別現況の住宅の延床面積の按分比（ 0.3268 ）で配分した。

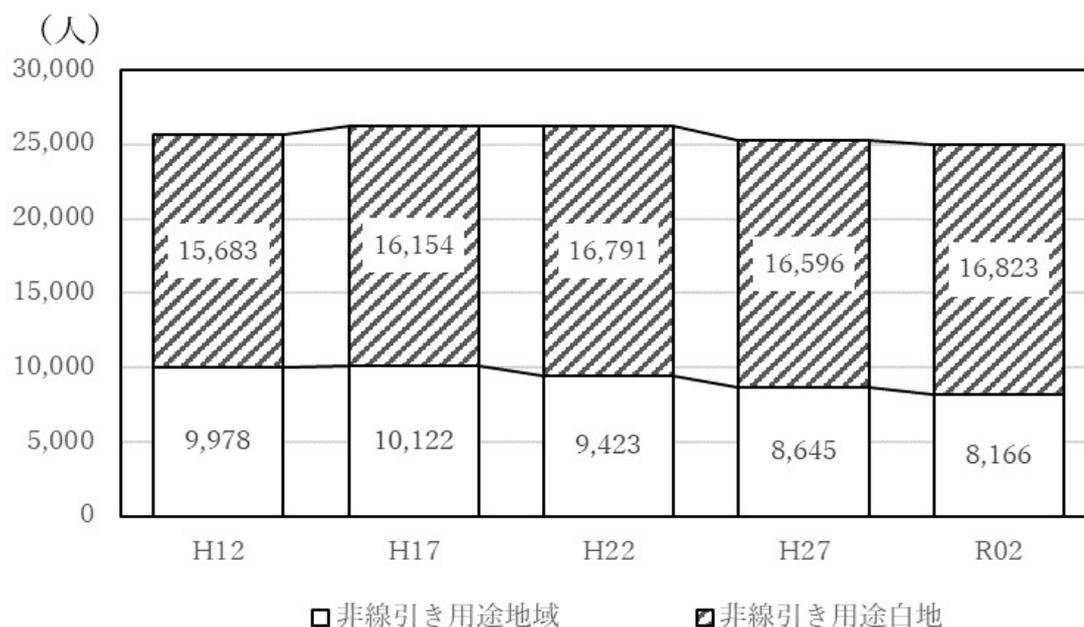


図 1 - 1 人口推移

C0101-2 年齢・性別人口

令和2年の5歳階級別人口をみると、男女とも45～49歳、70～74歳の人口が多くなっており、これは第1次ベビーブーム及び第2次ベビーブームに該当する世代である。平成12年と令和2年を比較すると、つりがね型から壺型に移行していることがわかる。

年齢3区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成12年から令和2年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成12年から令和2年までの20年間で年少人口が4,000人から3,317人（17.1%減）、老年人口が4,839人から7,486人（54.7%増）となっており、構成比でみると年少人口が15.6%から13.3%、老年人口が18.9%から30.0%と変化していることから、少子高齢化の進行がうかがえる。

表1-2-1 5歳階級別年齢・性別人口推移（行政区域）

（平成12、17、22、27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級（5歳階級）別人口をもとに作成）

年階層	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女												
0～4	1,350	696	654	1,348	723	625	1,265	634	631	1,034	565	469	937	482	455
5～9	1,256	643	613	1,297	682	615	1,286	681	605	1,262	632	630	1,093	597	496
10～14	1,394	725	669	1,265	654	611	1,264	664	600	1,295	690	605	1,287	633	654
15～19	1,387	713	674	1,254	636	618	1,204	624	580	1,124	601	523	1,155	613	542
20～24	1,657	821	836	1,265	630	635	1,275	640	635	877	466	411	898	472	426
25～29	2,174	1,141	1,033	2,003	999	1,004	1,438	795	643	1,192	612	580	1,061	575	486
30～34	1,778	919	859	2,158	1,138	1,020	1,844	946	898	1,349	710	639	1,171	630	541
35～39	1,552	805	747	1,823	955	868	2,029	1,085	944	1,763	923	840	1,393	746	647
40～44	1,491	773	718	1,577	821	756	1,727	916	811	2,036	1,069	967	1,811	944	867
45～49	1,714	833	881	1,488	756	732	1,527	788	739	1,691	901	790	2,048	1,065	983
50～54	2,020	995	1,025	1,696	815	881	1,481	773	708	1,523	798	725	1,690	894	796
55～59	1,657	848	809	2,038	1,006	1,032	1,695	828	867	1,454	751	703	1,512	790	722
60～64	1,392	666	726	1,691	870	821	2,003	987	1,016	1,650	798	852	1,447	721	726
65～69	1,377	665	712	1,380	653	727	1,641	834	807	1,952	950	1,002	1,652	791	861
70～74	1,306	601	705	1,320	616	704	1,321	606	715	1,545	769	776	1,944	930	1,014
75～79	947	388	559	1,176	524	652	1,235	564	671	1,208	540	668	1,466	719	747
80～84	659	244	415	787	303	484	1,009	424	585	1,018	439	579	1,064	452	612
85～89	550	170	380	710	234	476	611	203	408	773	305	468	788	300	488
359							85	274	395	93	302	572	157	415	
90～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	69	31	-	-	-
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	69	31	-	-	-
総計	25,661	12,646	13,015	26,276	13,015	13,261	26,214	13,077	13,137	25,241	12,681	12,560	24,989	12,511	12,478

資料：国勢調査不詳補完結果

表1-2-2 年齢3区分別人口の推移（行政区域）

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	総数(人)	構成比								
年少人口	4,000	15.6%	3,910	14.9%	3,815	14.6%	3,591	14.3%	3,317	13.3%
生産年齢人口	16,822	65.6%	16,993	64.7%	16,223	61.9%	14,659	58.3%	14,186	56.8%
老年人口	4,839	18.9%	5,373	20.4%	6,176	23.6%	6,891	27.4%	7,486	30.0%
総計	25,661	100.0%	26,276	100.0%	26,214	100.0%	25,141	100.0%	24,989	100.0%

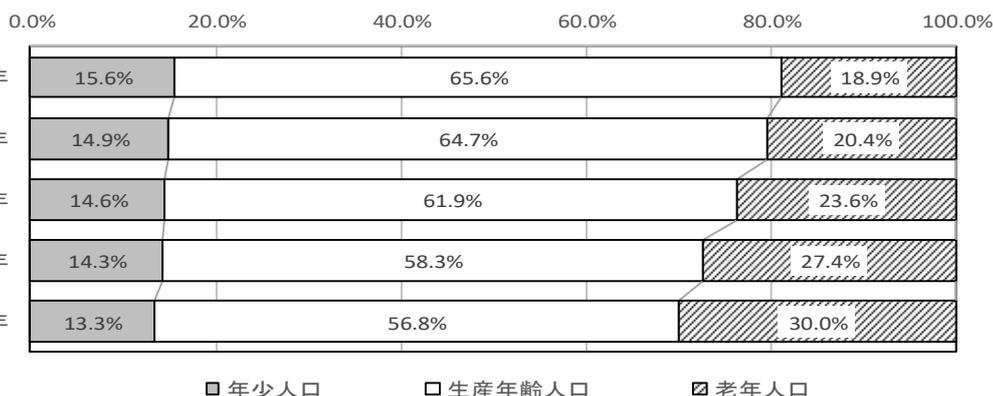
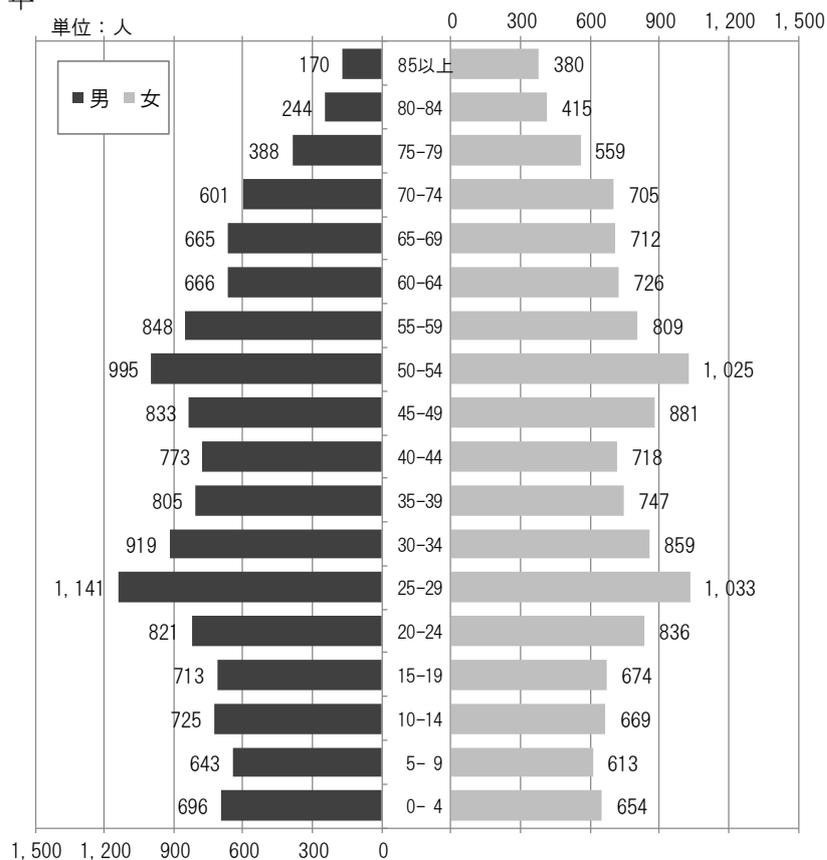


図1-2 年齢3区分別人口構成比推移（行政区域）

平成 12 年



令和 2 年

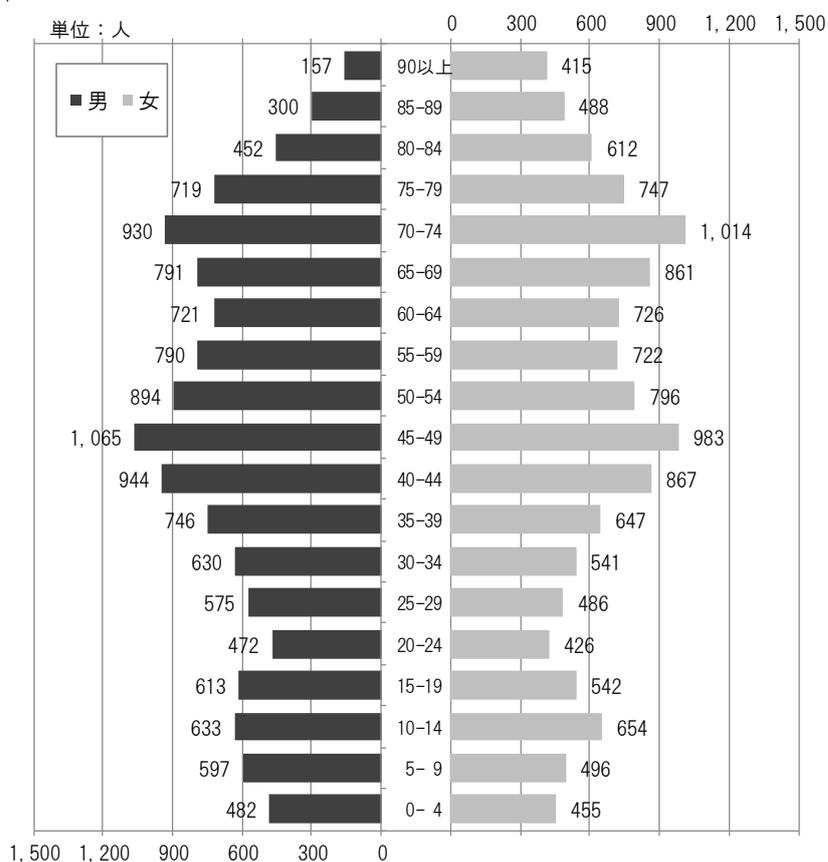


図 1 - 3 5 歳階級別年齢・性別人口 (行政区)

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による箕輪町の推計人口は減少が続き、令和32年には19,588人になると推計されている。年齢3区分別人口でみると、令和2年から令和32年の増減は年少人口が1,299人減(39.2%減)、生産年齢人口が4,818人減(34.0%減)、老年人口が716人増(9.6%増)となっている。

表1-3 5歳階級別人口推計

(日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)〔国立社会保障・人口問題研究所〕年齢別男女別将来人口をもとに作成)

	平成27年(実績値)			令和2年(実績値)			令和7年(2025年)			令和12年(2030年)			
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
年齢階級別	0～4歳	1,034	565	469	937	482	455	775	397	378	759	389	370
	5～9歳	1,262	632	630	1,093	597	496	940	481	459	784	398	386
	10～14歳	1,295	690	605	1,287	633	654	1,090	593	497	940	479	461
	15～19歳	1,124	601	523	1,155	613	542	1,164	576	588	987	539	448
	20～24歳	877	466	411	898	472	426	1,007	530	477	996	496	500
	25～29歳	1,192	612	580	1,061	575	486	1,075	587	488	1,133	624	509
	30～34歳	1,349	710	639	1,171	630	541	1,068	585	483	1,082	597	485
	35～39歳	1,763	923	840	1,393	746	647	1,175	640	535	1,074	594	480
	40～44歳	2,036	1,069	967	1,811	944	867	1,378	734	644	1,162	630	532
	45～49歳	1,691	901	790	2,048	1,065	983	1,774	918	856	1,350	714	636
	50～54歳	1,523	798	725	1,690	894	796	2,034	1,068	966	1,759	919	840
	55～59歳	1,454	751	703	1,512	790	722	1,682	891	791	2,014	1,059	955
	60～64歳	1,650	798	852	1,447	721	726	1,489	769	720	1,655	867	788
	65～69歳	1,952	950	1,002	1,652	791	861	1,420	701	719	1,468	752	716
	70～74歳	1,545	769	776	1,944	930	1,014	1,600	751	849	1,377	667	710
	75～79歳	1,208	540	668	1,466	719	747	1,833	855	978	1,513	695	818
	80～84歳	1,018	439	579	1,064	452	612	1,276	590	686	1,623	725	898
	85～89歳	773	305	468	788	300	488	859	336	523	1,013	433	580
90～94歳				445	132	313	492	155	337	519	165	354	
95歳以上	395	93	302	127	25	102	184	38	146	225	53	172	
年齢不詳	100	69	31										
総計	25,241	12,681	12,560	24,989	12,511	12,478	24,315	12,195	12,120	23,433	11,795	11,638	

	令和17年(2035年)			令和22年(2040年)			令和27年(2045年)			令和32年(2050年)			
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
年齢階級別	0～4歳	737	378	359	711	364	347	671	344	327	609	312	297
	5～9歳	770	391	379	750	380	370	725	367	358	684	347	337
	10～14歳	785	397	388	770	389	381	751	379	372	725	366	359
	15～19歳	852	436	416	710	360	350	697	354	343	679	344	335
	20～24歳	860	463	397	744	378	366	623	313	310	611	307	304
	25～29歳	1,107	590	517	994	554	440	871	469	402	734	388	346
	30～34歳	1,129	623	506	1,105	593	512	994	559	435	876	477	399
	35～39歳	1,093	609	484	1,140	635	505	1,115	605	510	1,003	570	433
	40～44歳	1,066	587	479	1,088	604	484	1,135	629	506	1,111	601	510
	45～49歳	1,139	613	526	1,048	573	475	1,071	591	480	1,117	616	501
	50～54歳	1,345	717	628	1,136	616	520	1,047	577	470	1,074	597	477
	55～59歳	1,742	912	830	1,338	714	624	1,131	614	517	1,046	577	469
	60～64歳	1,978	1,028	950	1,712	886	826	1,318	696	622	1,117	600	517
	65～69歳	1,634	848	786	1,953	1,006	947	1,691	868	823	1,306	685	621
	70～74歳	1,427	718	709	1,592	813	779	1,904	964	940	1,650	833	817
	75～79歳	1,309	621	688	1,362	673	689	1,523	764	759	1,821	906	915
	80～84歳	1,347	592	755	1,174	535	639	1,226	583	643	1,379	667	712
	85～89歳	1,315	547	768	1,095	449	646	969	413	556	1,026	457	569
90～94歳	618	218	400	835	286	549	700	237	463	632	224	408	
95歳以上	249	60	189	296	79	217	411	110	301	388	101	287	
総計	22,502	11,348	11,154	21,553	10,887	10,666	20,573	10,436	10,137	19,588	9,975	9,613	

表 1 - 4 年齢 3 区分別将来推計人口

単位；人

	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32
年少人口	3,591	3,317	2,805	2,483	2,292	2,231	2,147	2,018
生産年齢人口	14,659	14,186	13,846	13,212	12,311	11,015	10,002	9,368
老年人口	6,891	7,486	7,664	7,738	7,899	8,307	8,424	8,202
総計	25,141	24,989	24,315	23,433	22,502	21,553	20,573	19,588

注) 平成 27 年の実績値の総計には不詳 (100 人) を含む

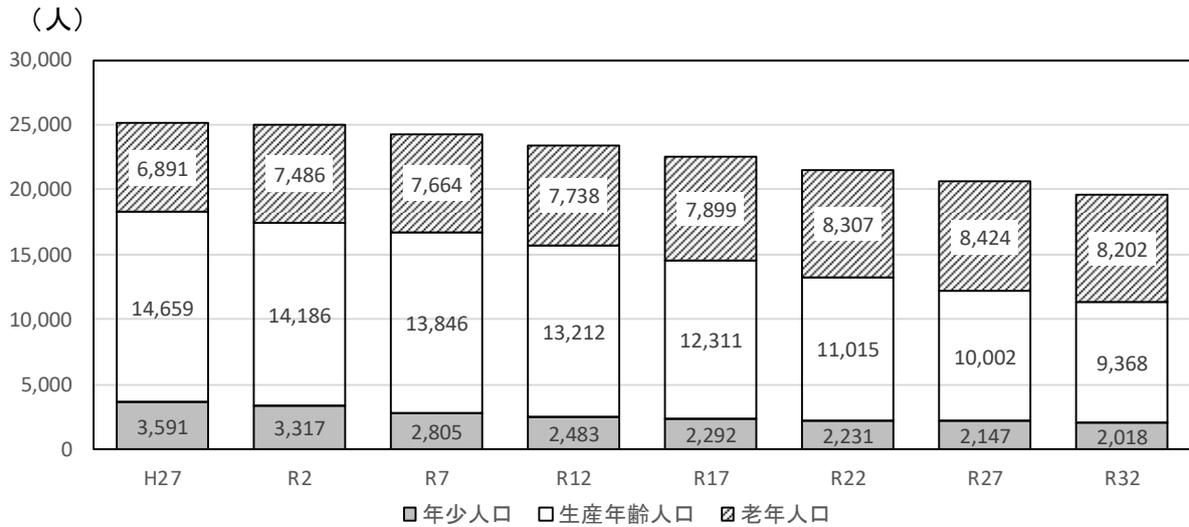


図 1 - 4 年齢 3 区分別将来推計人口

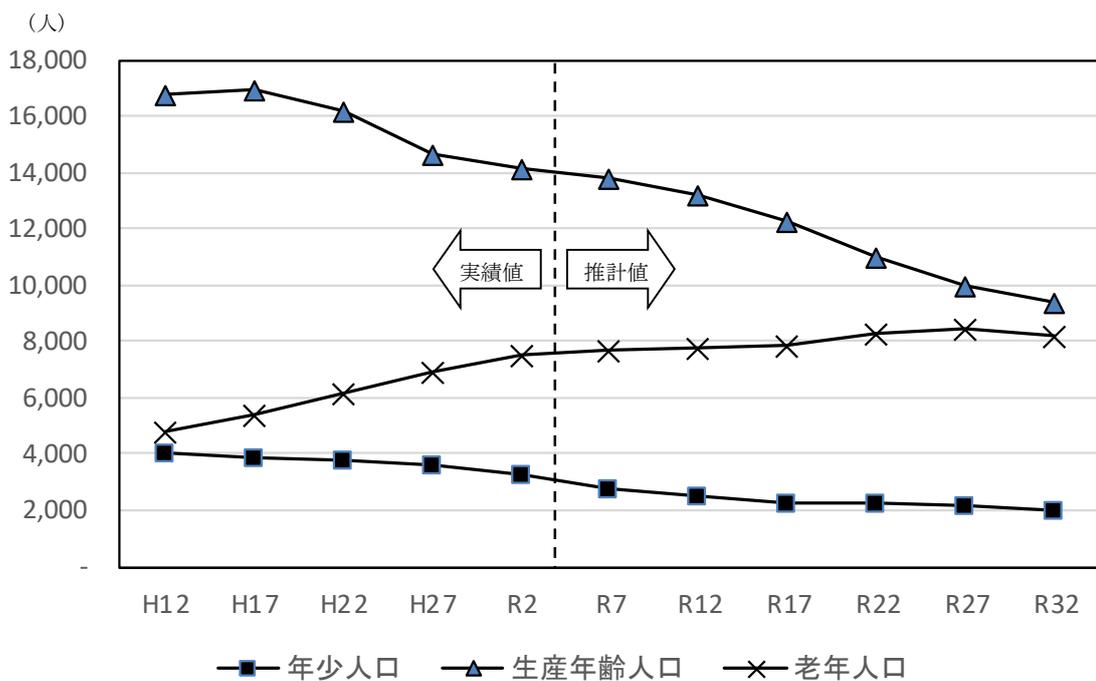


図 1 - 5 人口の推移と将来推計 (年齢 3 区分)

国立社会保障・人口問題研究所による箕輪町の令和 32 年の 5 歳階級別・男女別推計人口は図 1-6 に示すようにつば型が進行した逆富士山型に近い形になる。

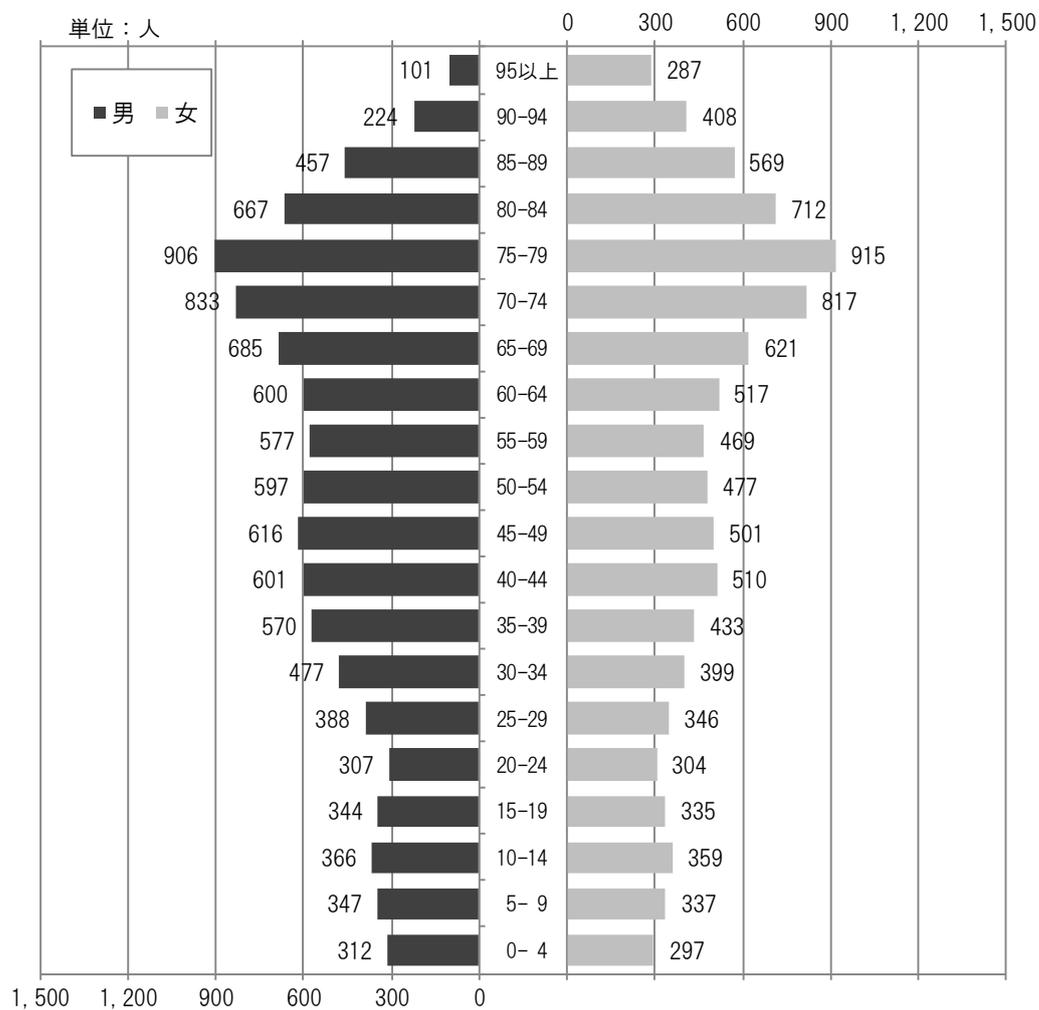


図 1 - 6 令和 32 年の 5 歳階級別年齢・性別人口

C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成12年から令和2年までの20年間における人口増減の累計は10人増(163人+66人+59人-95人-183人=10人)となっている。

自然動態については、平成12年までは自然増であったが、平成17年以降は出生数が死亡者数を下回って、自然減の状態が続いている。

一方、社会動態については平成22年までは転入者が転出者を上回っていることから平成22年までは概ね社会増となっているが、それ以降は社会減となっている。

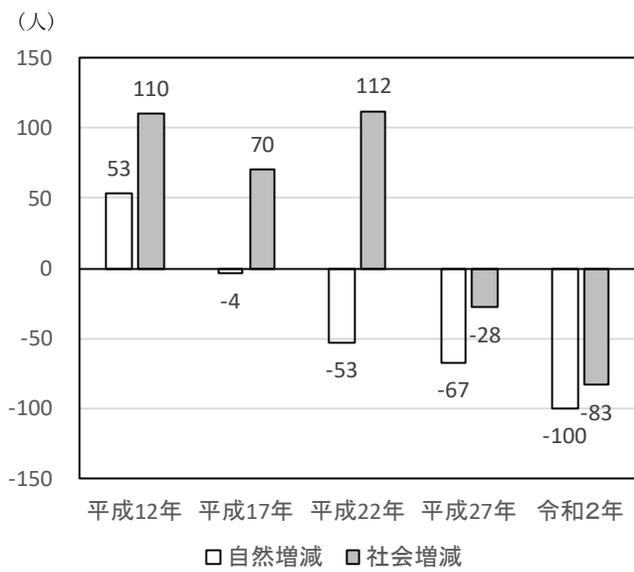
表1-5 国勢調査年の人口動態推移

(箕輪町調査(住民基本台帳年報(箕輪町町勢要覧)より作成))

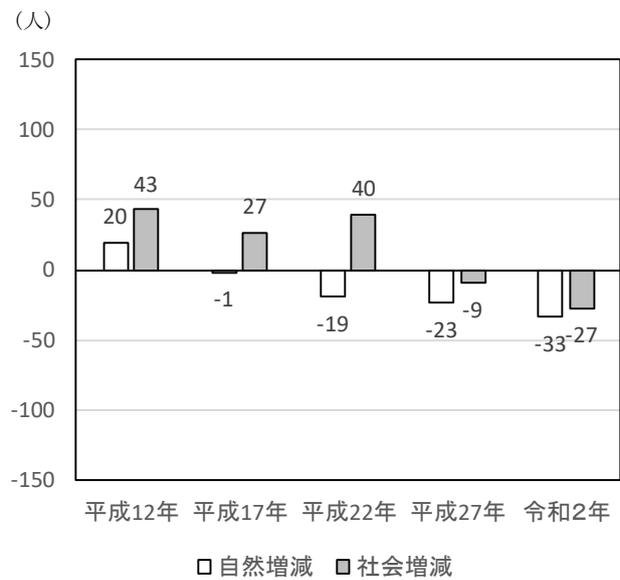
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
		人	人	人	人	人
行政区域	自然増減	53	△4	△53	△67	△100
	出生数	245	220	227	198	142
	死亡者数	192	224	280	265	242
	社会増減	110	70	112	△28	△83
	転入者数	1,037	1,117	860	972	840
	転出者数	927	1,047	748	1,000	923
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	163	66	59	△95	△183
都市計画区域	自然増減	53	△4	△53	△67	△100
	出生数	245	220	227	198	142
	死亡者数	192	224	280	265	242
	社会増減	110	70	112	△28	△83
	転入者数	1,037	1,117	860	972	840
	転出者数	927	1,047	748	1,000	923
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	163	66	59	△95	△183
用途地域指定区域	自然増減	20	△1	△19	△23	△33
	出生数	95	85	82	68	46
	死亡者数	75	86	101	91	79
	社会増減	43	27	40	△9	△27
	転入者数	403	430	309	333	275
	転出者数	360	403	269	342	302
	(その他増減)	—	—	—	—	—
	人口増減計	63	26	21	△32	△60

注1) 非線引き用途地域と非線引き用途白地の動態数は、都市計画区域の動態数を建物用途別現況の住宅の延床面積比で按分して試算した。

注2) 平成22年以前は各年度4月1日から3月31日の値、平成27年以降は各年1月1日から12月31日の値



行政区域 (=都市計画区域)



非線引き用途地域

図1-7 国勢調査年の人口動態の推移

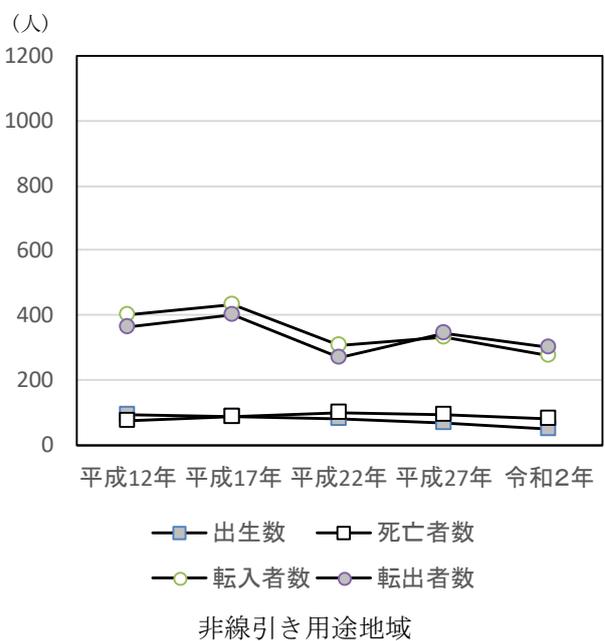
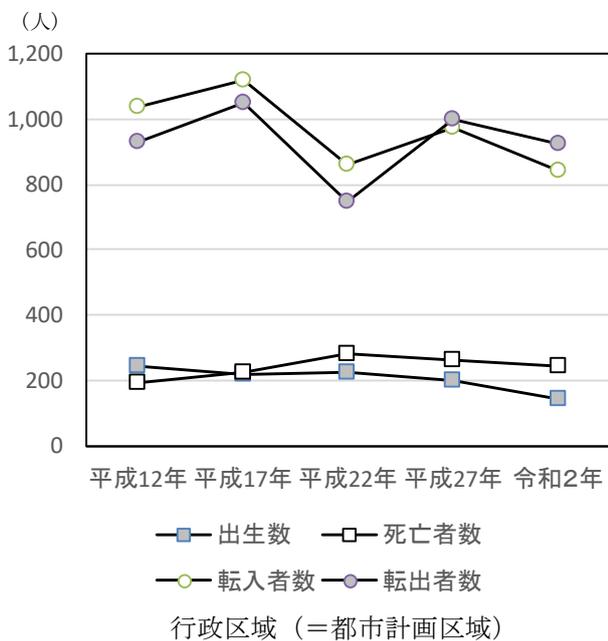


図1-8 国勢調査年の人口動態の推移内訳

C0105 通勤・通学移動

平成12年から令和2年までの流出・流入人口をみると、常住地及び従業地による従業・通学者数はともに減少に転じている。令和2年の常住地による就業・通学者数は13,601人、従業・通学地による従業・通学者数は12,909人となっており、平成12年と比較するそれぞれ2,277人、3,005人の減少が見られる。流出数は増加傾向にあり、流入者数はやや減少傾向にある。

平成12年と令和2年の流出先・流入先を市町村別に見ると、流出先第1位から第3位は伊那市、辰野町、南箕輪村の順であり、流入先第1位から第3位は伊那市、南箕輪村、辰野町の順であり、平成12年以降初めて南箕輪村からの流入者が第2位となった。

また、令和2年における流出率は48.8%、流入率は45.6%と流出が流入を上回っている。

表1-6 流出・流入別人口推移

平成12,17,22,27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数をもとに作成

	常住地による 従業・通学者数 人	流 出		従業・通学地による 従業・通学者数 人	流 入		従/常 従業・通学者比率 %
		従業・通学者数 人	流出率 %		従業・通学者数 人	流入率 %	
平成12年	15,878	5,988	37.7	15,914	6,024	37.9	100.2
平成17年	15,413	6,288	40.8	14,907	5,776	38.7	96.7
平成22年	14,772	6,641	45.0	14,765	6,199	42.0	99.95
平成27年	13,981	6,533	46.7	13,390	5,924	44.2	95.8
令和2年	13,601	6,640	48.8	12,909	5,882	45.6	94.9

表1-7 市町村別流出・流入先人口推移

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %
平成12年	伊那市	1,991	12.5	辰野町	1,353	8.5	南箕輪村	699	4.4
平成17年	〃	2,134	13.8	〃	1,268	8.2	〃	798	5.2
平成22年	〃	2,239	15.2	〃	1,295	8.8	〃	792	5.4
平成27年	〃	2,341	16.7	〃	1,351	9.7	〃	847	6.1
令和2年	〃	2,398	17.6	〃	1,372	10.1	〃	888	6.5
	流 出 先								
	流出率第4位			流出率第5位					
	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %			
平成12年	岡谷市	588	3.7	駒ヶ根市	292	1.8			
平成17年	〃	629	4.1	〃	285	1.8			
平成22年	〃	495	3.4	松本市	284	1.9			
平成27年	〃	454	3.2	駒ヶ根市	288	2.1			
令和2年	〃	421	3.1	〃	276	2.0			
	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %
平成12年	伊那市	2,119	13.3	辰野町	1,277	8.0	南箕輪村	1,118	7.0
平成17年	〃	2,152	14.4	〃	1,184	7.9	〃	1,019	6.8
平成22年	〃	2,515	17.0	〃	1,183	8.0	〃	1,140	7.7
平成27年	〃	2,424	18.1	〃	1,105	8.3	〃	1,051	7.8
令和2年	〃	2,348	18.2	南箕輪村	1,169	9.1	辰野町	1,061	8.2
	流 入 先								
	流入率第4位			流入率第5位					
	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %			
平成12年	駒ヶ根市	308	1.9	岡谷市	296	1.9			
平成17年	〃	300	2.0	〃	247	1.7			
平成22年	〃	281	1.9	〃	260	1.8			
平成27年	〃	285	2.1	〃	236	1.8			
令和2年	岡谷市	237	1.8	駒ヶ根市	236	1.8			

注1. 常住地による従業・通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）従業・通学者数を指す。

従業・通学地による従業・通学者数とは、当該都市に従業・通学する（昼間人口ベース）従業・通学者数を指す。資料：国勢調査

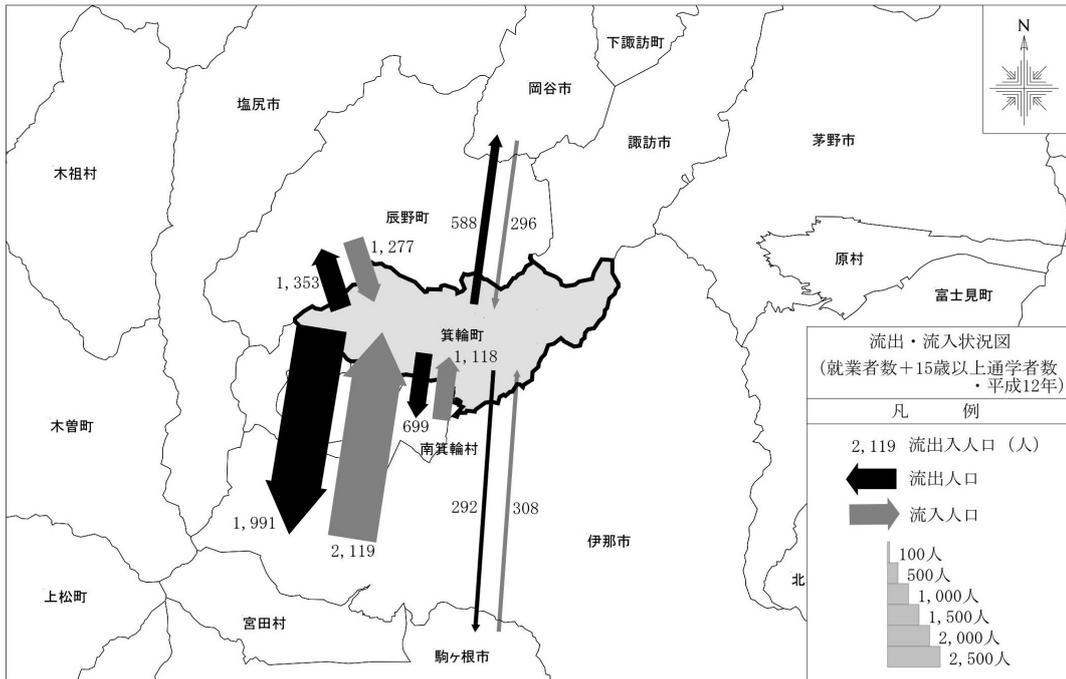
注2. 流出率＝流出従業・通学者数／常住地による従業・通学者数×100

流入率＝流入従業・通学者数／従業・通学地による従業・通学者数×100

注3. (従/常) 従業・通学者比率＝従業・通学地による従業・通学者数／常住地による従業・通学者数×100

【平成 12 年】

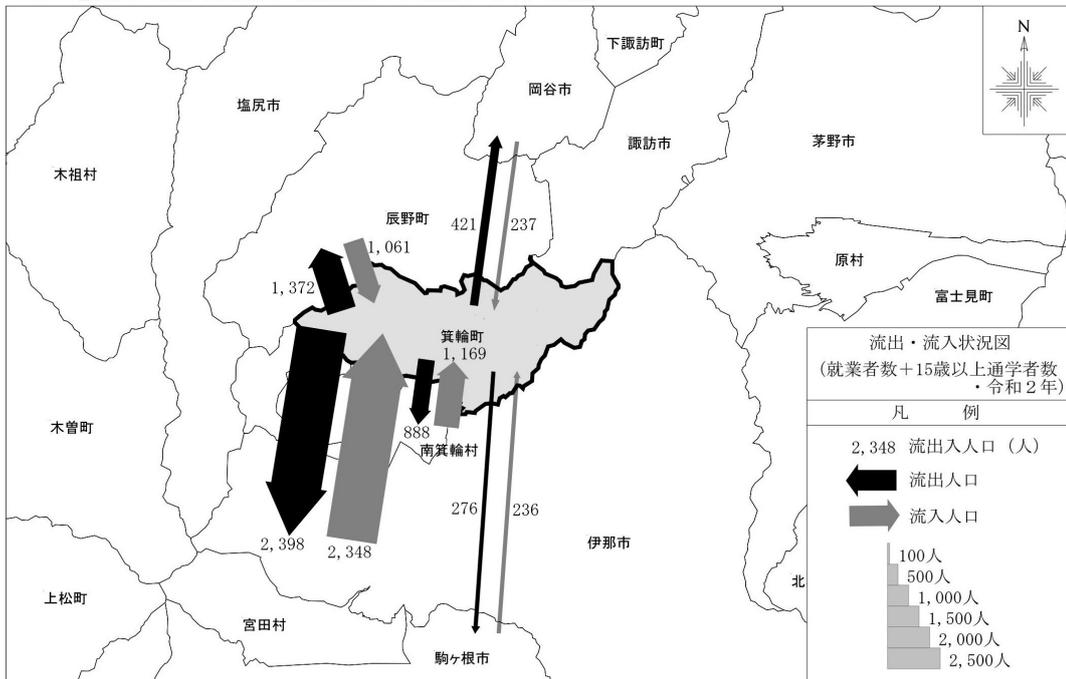
C0105_流出・流入状況図（就業者+15歳以上通学者数）



基準日：平成12年国勢調査

【令和 2 年】

C0105_流出・流入状況図（就業者+15歳以上通学者数）



基準日：令和2年国勢調査

図 1 - 9 流出・流入人口